

家庭数

<家庭・地域との協働を深め、一生懸命いっぱい、思いやりいっぱいの心豊かな児童を育てる学校>

わかたけ

春日部市立武里小学校
児童数 444名 (1/8)
令和2年1月8日発行

新しい年の始まりにあたり

校長 小熊 三千世

明けましておめでとうございます。令和2年1月、まとめの3学期を迎えました。地域・保護者の皆様には、昨年も本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、大変有難うございました。

近代ドイツの哲学者ヘーゲルが著した「法の哲学」の序文に「ミネルヴァの梟は迫りくる黄昏に飛び立つ」という一説があります。ミネルヴァとはギリシャ神話の文武・知恵を司る女神のこと、梟はその使いで知性の象徴とされています。一つの時代が終焉を迎え古い体制や考え方が通用しなくなった時を黄昏にたとえ、新しい知恵を求めて新たな時代を切り拓くものを梟にたとえたのだらうとされています。



12月中旬には、1年生と呑竜幼稚園の年長さんとの「なかよし交流会」が行われました。1年生はこの日を楽しみに準備を進めていたのですが、幼稚園の皆さんの人数が1年生の半分ほどでなかなか自分たちのブースにお客様が集まりません。困った1年生は自分たちのブースを離れ大きな声で呼び込みを始めたり、曲や声掛け、拍手で楽しさを演出したりと様々な方法で、お客様を集め出しました。先生方に教えられた決まりきった方法

でなく、自分たちで知恵を凝らしてお客様を集める姿に「ミネルヴァの梟」の姿を重ね、まだ小さい1年生に頼もしさすら感じました。

子ども達は、小さい困難や失敗と出会いながら成長していきます。様々な人と関わりながら学び、その学びを通して自分の存在が認められた、自分の活動によって何かを変えた、成功したと実感をもてるような取組を行うことが、「ミネルヴァの梟」を育てることにつながると考えます。武里小は、そんな教育を目指したいと考えます。本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

～ちょっと一言～

幼稚園の皆さんがお帰りになるときに、「来年度は、何名武里小に入学されますか？」とお伺いすると、傍らで聞いていた子が「僕は、武里小！」と大きな声をあげました。すかさず先生が、「あなたは、〇〇小（他校名）でしょう。」と言うと、「何で、何で、武里小がいい！」と駄々をこね始めました。その姿に思わず笑顔になり、1年生の活動が大成功だったとも感じました。

書きぞめ競書会



12月2日(月)、12月3日(火)に、書きぞめ競書会が行われました。1・2年生は各教室でフェルトペンを使って、3～6年は学年全員が体育館に集まって毛筆で、美しい字を書こうと一人一人が集中して頑張りました。そして、力作を仕上げることができました。

幼稚園との交流会 1年生



12月11日(水)に地域にある幼稚園の年長さんを招待し、1年生と交流会を行いました。1年生が遊びランドを作り、的当てやポウリング、魚釣りなどのゲームを通して交流を図りました。1年生も幼稚園の皆さんもとても楽しんでいました。実りある素晴らしい会となりました。

租税教室 6年



12月6日、6年生の社会科学習の一環として、税理士の方2名を講師にお招きし、「租税教室」を行いました。DVDを見たり、お話を聴いたりしながら、「税金が何に使われているのか」「納税の大切さ」などについて、学ぶことができました。

第2回学校保健委員会



11月27日(水)に、第2回学校保健委員会(うがい・手洗い教室)を開催しました。当日は1年生の授業を兼ね、外部講師をお招きして実施しました。手洗いやうがいの必要性について、1年生にも分かりやすくお話をさせていただきました。

わかたけ合唱団



本校では、毎年4年生から6年生までの有志で、「わかたけ合唱団」を結成しています。今年度も、2月1日(土)の合唱祭に向けて、放課後を中心に練習を重ねています。本校の正門付近の道路を通りかかった時などに、子どもたちのきれいなハーモニーが聞こえてくるかもしれません。

わんぱくタイム ~なわとび~



今年度も12月から、朝の活動「わんぱくタイム」において、なわとびを開始しました。寒さに負けず、子どもたちは元気になわとびをして体力づくりに励んでいます。あや跳びや2重跳び、はやぶさ跳びなど、個人の力に応じて様々な技に挑戦しています。